

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、22～25℃台を示し、やや高め～高めの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――週前半は月夜間の為出漁日数が少なかった。西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり3トンの水揚げで、前週の1.5倍（前年を下回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり1トンの水揚げで前週の33%（前年並み）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり8トンの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。
- イカ釣――スルメイカは、壱岐勝本地区では1日当たり834kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり28kgの水揚げで、前週の1.3倍（前年並み）。壱岐勝本地区では1日当たり25kgの水揚げで、前週の1.2倍（前年を下回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、シイラなどが1日1統当たり3.2トンの水揚げ。対馬西岸地区では、イサキなどが1日1統当たり62kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり152kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり313kgの水揚げで、前週の1.3倍（前年を上回った）。野母地区では、マアジが1日1統当たり10kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（10/20～10/25の6日間）沖合イカ釣（船凍船）は、隠岐諸島北沖～大和堆で操業。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～浜田沖～隠岐諸島周辺～能登半島沖で操業。鳥取県西部（沖合船）3日延19隻、総計1,032箱、1航海最高114箱、平均54.3箱。スルメイカを漁獲、魚体は20～30入り。
（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>